

月刊報

NO. 10

発行日 1950. 1. 26
 発行所 岡崎市 A.V. 1
 編集委員 岡崎市教育委員会

岡崎市放送教育研究大会

大成功のうちに終る

去る一月十七日岡崎市立三萬小學校を会場に開かれた岡崎市放送教育研究大会は、企画が自主的であること、学校教育、社会教育が一体化して行われたこと、大会そのものが大変充実していたこと等、放送教育関係者のみでなく広くその成果が評価されています。伝え聞いた岡崎市小中学校視聴覚教育部の一同は、苦労や努力の甲斐があつたことを喜び合いながらも、今後検討して下さつた機器、関係業者や、積極的に御指導下さつた市教育委員会、N.B.B.、司会者、助言者の先生方のおかげであつたと、心から感謝しております。

この貴重な経験を生かし、岡崎市の視聴覚教育を一層高め、全国的な評価が得られるような水準に到達したいと張切つていきます。

記念講演

「教育の現代化と放送教育」

講演要旨の印刷が完成

前文部省視聴覚教育課専員、有光成徳先生の記念講演は、教育の現代化という今日の要題に課せられた命題について、放送教育との関わりを中心に、極めて示唆に富んだお話であり、参会者に好評だったが、当日参加できなかった方々にも、ぜひ必要なりとお知らせしたいと、橋岡小牧野先生の労作でこの種原稿がまとまり、印刷も完了しました。印刷部数の関係で、各校視聴覚主任へ一部ずつ送付されることになるそうですから、回覧してでも、多数の先生にお読み頂きたいと願います。

印刷ミスで一部誤字脱字がありますが、ライブラリーの市川君の労に免じてお許しください。

研究大会「分科会」報告

◎ 第一分科会（小・低 社会科）

子供達の目にふれない働くお母さんのようすが、間接経験でも放送で理解を深め、話し合いが活発化した。番組内容についての注

文がNPTに對して出される。

◎第二分科会（小・中 道徳）

子供の場合に訴え心づかせる放送番組は、道徳教材として優れている。それだけに分断利用をしない方が効果的であろう。

◎第三分科会（小・高 理科）

理科番組の中には学校ではできない実験や仮説実験授業の進め方など、教師の学ぶことも多い。「まるごと」「分断」など利用法について意見対立。結論は出す。

◎第四分科会（中 社会科）

放送は録画して小単元に位置付けて利用するが、内容をくわしく視聴させようとするよりも、番組全体を通して、歴史をまとめて理解させるような利用法が良いのではないか。

◎第五分科会（中 理科）

中学校理科授業の中で、ビデオを利用した効果として、学習意欲の向上が実験者の総てから挙げられた。生徒の実態に即した講義された教材が、学習の効率化を高めるように利用されなければならぬ。放送利用も同様で、全体的な研究課題として、実証研究したい。

◎第六分科会（小・高 お母さんの勉強室）

放送を利用した婦人会准の「お母さんの勉強室」授業風景を參觀、午後の分科会で実習した。話し合いも活ばつて、人気も上々。

◎第七分科会（中・高 P 中学生日記）

中学生日記を家庭で視聴している人も十二名程いて、番組の評価は高い。PTA活動としての放送利用は、皆で視聴しその後話し合うことにある。この企画に感謝する人が多かった。

ライブラリーだより

愛知県視覚教育連絡協議会と愛知県教育委員会主催による、自作視覚教材コンクールに、岡崎市内から次の作品の応募がありました。良い成績が得られるよう、期待しています。

なお、成績発表は二月二十日頃の予定です。

○ハミリ映画

「楽しい計算」高海中数学部会

○VTRテープ

「ミシン」小学校家庭科北ブロック

「筆生センターのほさ」AVL自作委員会